

2006年、すべてはあの夏から始まった。楽器未経験の大人たちがジャズバンドを組み、たった半年間でライブハウスにデビュー。2年後には2000人の大観衆を前に東京国際フォーラムの舞台に立った。そして1人の起業家が誕生する。

こう書けば感動の物語を想像させようだが、〝主役〟の吉岡秀和社長は京都大学を卒業して外資系コンサルタント会社から華麗な転身を遂げながらも、ハチャメチャなノリだった。

「もう年やし、バンドやらへんか」コンサル業界の仲間を集めて5年間率いた社会人草野球チームの試合後のこと。30歳を前に「新しくやりたいことができたんや」と唐突に打ち明けると、「それは面白い」と応じるメンバーもいて、ひょんなことから自身をリーダーに8人編成のバンドができた。

ちょうど映画「スウィングガールズ」が大ヒットした直後。女子高生が大人数編成のビッグバンドを組んでジャズ演奏に目覚めていく劇中の姿に触発され、「おれたちの青春よもう一度!」と突っ走った。まずは定番「茶色の小瓶」を課題曲にそれぞれ受け持ちの楽器を猛練習し、1カ月後初めてスタジオに集まりセッションに臨んだ。

結果は「あれっ? ひどすぎる



スタジオで金管楽器を練習する様子

…」。曲目は同じでも譜面は好き勝手に選び、「キー（調）や曲の長さもバラバラ」。メンバーから「共通の楽譜くらい用意しろ!」と総ツッコミが入った。

そんな出だしだったが、「1曲入魂」で月イチのセッションを重ねていくと、もう「初ライブやろうや」と怖い者知らず。〝エリート〟の道を踏み外したモテないキャリア系バンド、と銘打って東京・赤坂の老舗ライブハウスの出演機会を得ると、社会人が音楽を心底楽しむ姿が意外にも受け、新メンバー希望者もどんどん膨らんでいった。

- 【会社概要】
- ▷本社＝東京都港区海岸1の1の1の2608
 - ▷資本金＝790万円
 - ▷売上高＝1500万円（09年5月期）
 - ▷社員数＝3人
 - ▷事業内容＝音楽教室、イベント、社会人バンドの運営

よしおか・ひでかず 京大経卒。外資系コンサルティング会社を経て2008年6月「EYS—STYLE」設立、社長就任。自身はサックスプレーヤー。32歳。大阪府出身。



楽しむことがすべての基本

極め付きはプロとの共演だ。あこがれの日本を代表するラテンジャズ・ビッグバンド「熱帯JAZZ楽団」の公演先で楽屋に押しかけ、無謀にも「アマチュアとコラボしてください」と直談判。音楽を愛する熱意が通じたのか何と快くOKが出て、国際フォーラムの舞台に立った。

気がつけば所属メンバーも東名阪に総勢100人。本業のコンサルどころではなくなり、社会人ビッグバンドの運営そのものをNPO法人（特定非営利活動法人）にする一方、自分たちが歩んできた〝楽しむことがすべての基本、〟という「Enjoy Your Sound」

（EYS）の精神を広げようと、社会人のための音楽教室を開業した。①好きな曲を演奏②つまらない基礎練習は省く③セッションを優先—という小人数の教習法が特徴。貸しスタジオを代用した現状の運営体制では増え続けるレッスン希望者に対応できず、来夏には初の専用練習スタジオを都内に設け、受講生数も現在の180人から3000人規模を見込む。

「人を集めて何かワーッとやるのが根っから好きやったんですわ」と吉岡社長。そんなユニークなキャラクターを見事に開花させたようだ。

（中山忠夫）